

# 松下幸之助花の万博記念賞 贈呈式および講演会

## オンライン視聴のご案内

松下幸之助花の万博記念賞は、1990年に大阪鶴見緑地で開催された花の万博の理念を後世に伝えるため財団法人松下幸之助花の万博記念財団(現 公益財団法人松下幸之助記念志財団)によって、1992年に創設されました。「自然と人間との共生」という花の万博の基本理念の実現に貢献するすぐれた学術研究や実践活動および社会貢献活動を顕彰することを目的とし、日本在住の個人またはグループを対象に「松下幸之助記念賞」「松下幸之助記念奨励賞」「松下正治記念賞」を贈呈してまいりました。

本賞は、今年創設30年目を迎え、自然と人間が共生する豊かで潤いのある社会の実現を目指し、21世紀の地球と人類の平和と繁栄に貢献すべく、一層の努力を傾けたいと念願しております。

本年度も受賞者が決まりましたのでご案内申し上げます。ただし例年会場にお集まりいただき開催しております贈呈式と講演会につきましては、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響が先行き不透明なことを踏まえ、慎重に協議・検討を重ねて参りました結果、WEB配信を中心としたハイブリット形式にて、第29回および第30回を同時開催することといたしました。

なお、毎年会場にて参加予定の皆様、関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご不便をおかけいたしますが、開催に向けて最大限の準備を整えて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、今後の感染拡大状況に応じて、開催方法にさらなる変更が生じる可能性もございますのであらかじめご了承いただければ幸いに存じます。

**当日LIVE配信でご覧いただけます。**(※会場でご参加いただくことはできません)

開催日時

**2022年2月5日(土) 13時～16時45分**

参加方法

財団ホームページよりお申込みください。  
<http://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/>



お申し込み・お問い合わせ先

公益財団法人 松下幸之助記念志財団  
 松下幸之助花の万博記念賞事務局  
 電話：080-3864-1192  
 E-mail：kmf.hanahaku@kk.jp.panasonic.com

# 第29回 松下幸之助花の万博記念賞 受賞者

## 松下幸之助記念賞



やま もと のり お  
**山本 紀夫**

国立民族学博物館名誉教授  
総合研究大学院大学名誉教授

植物地理学・作物進化学・考古学・文化人類学・民俗学等を融合した学際的な研究を通じて、主として熱帯高地における、作物の起源と進化、農耕民の生活・文化・歴史、作物と文明形成など、広範な知見を明らかにすると同時に、多くの出版物を通じて学術的な成果の普及に努めた功績

講演テーマ

高地文明の発見  
— 地球時代の文明学にむけて —

## 松下幸之助記念奨励賞



え び はら あつし  
**海老原 淳**

国立科学博物館植物研究部  
研究主幹

日本産シダ植物のDNAバーコード情報を整備しその情報を利用して配偶体世代のみで生育しているシダ植物の多様性やそれらが交雑して起きる網状進化を明らかにした。日本シダの会の非職業研究者との協働により『日本産シダ植物標準図鑑』を出版するなど、一般普及へ貢献した功績

講演テーマ

シダの種形成パズルを解き明かす

## 松下正治記念賞



ただ た え こ  
**多田 多恵子**

理学博士・植物生態学者

植物生態学の博士号を取得後、積極的に植物の生態の魅力について広く一般への普及活動に注力してきた。その活躍の舞台は広く、NHKラジオ子ども科学電話相談、各種図鑑等出版物の解説、また種苗会社月刊誌での連載などにも及ぶ。また立教大学ほかにおいて非常勤講師もつとめ後進の指導にもあたっている。植物好きの裾野を広げた功績

講演テーマ

ようこそ!  
植物のワンダーランドへ

# 第30回 松下幸之助花の万博記念賞 受賞者

## 松下幸之助記念賞



もり もと ゆき ひろ  
**森本 幸裕**

京都大学名誉教授  
公益財団法人  
京都市都市緑化協会理事長

森林生態系研究を活用し、都市を主な対象として実践的な緑環境の保全と創造に関する先駆的研究・教育に貢献しさらに「雨庭」の普及により、都市雨水の浸透貯留を高め、内水氾濫軽減、生物多様性保全、温暖化対策に取組み、国、地方自治体、企業での実用化に貢献した功績

講演テーマ

都市は雨庭で蘇る

## 松下幸之助記念奨励賞



よね くら こう じ  
**米倉 浩司**

一般財団法人 沖縄美ら島財団  
総合研究センター 研究員

タデ科やツツジ科についての優れた分類学的研究を行う一方、その幅広い知識に基づいて日本国内に自生・帰化している全ての維管束植物種と主な栽培植物種の和名と学名を整理した。さらに、ウェブ上でのそれらの検索システムYlistを整備し、日本の植物相の全容把握と保全に大きな貢献をした功績

講演テーマ

日本の維管束植物の種多様性を  
周辺と比較しつつ俯瞰する

## 松下正治記念賞



**公益財団法人**  
はっとりしよくぶつげんきゆうしよ  
**服部植物研究所**

私費で設立した研究所。蘚苔類・地衣類の研究と資料収集を行い、英文学術専門誌も独自発行。研究所から1000を越える学術論文を発表。研究だけでなく、絶滅危惧種調査、標本集の発行、常設展示場の開館、市民研究員受入、地元の小中学校や他府県での自然観察会や講演会等、様々な工夫で自然教育の普及・啓蒙活動を行い、広くコケ植物の魅力の発見と啓蒙に貢献した功績

講演テーマ

世界唯一のコケ専門研究機関  
— 三四半世紀にわたる活動と今後の展望 —